

サステナブルファッション の推進について(案)

令和3年8月20日

消費者庁

経済産業省

環境省

- 衣服については、原材料調達から生産、使用、廃棄の各段階での環境負荷等の様々な社会課題が内外で指摘。



**サステナブルファッションの推進に向け、
我が国においても社会全体での取組が不可欠**

➤ 事業者

アップサイクル、リユースの推進、各種リサイクル技術の高度化、環境配慮設計の推進、透明性の向上等

➤ 消費者

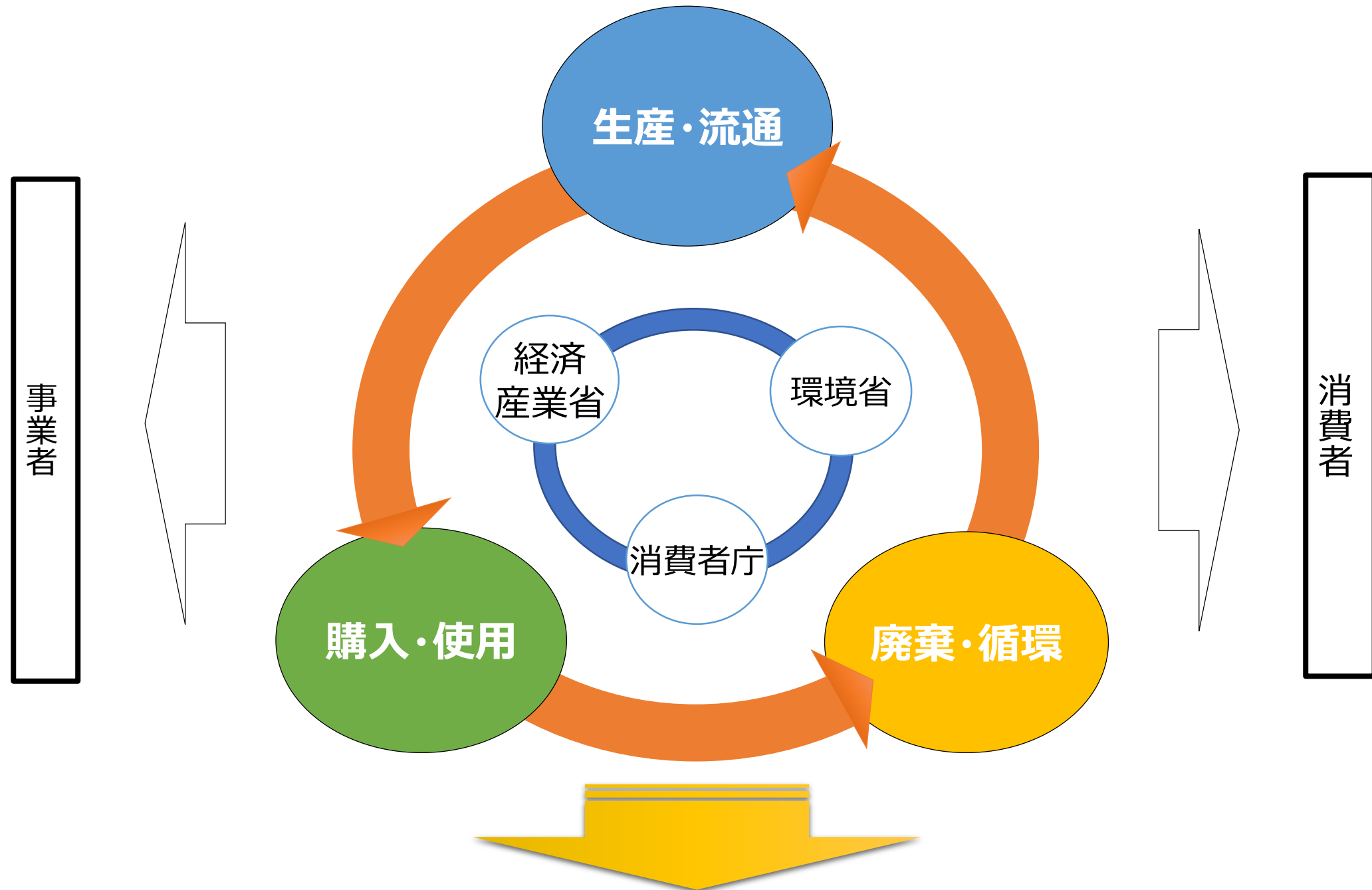
ファッションをめぐる課題の認知、行動変容等



関係省庁が連携し、取組を推進

サステナブルファッションの推進体制(案)

消費者庁、経済産業省、環境省の3省庁が連携し、生産・流通から廃棄・循環までの各段階に応じて、事業者及び消費者の双方に向けた取組を計画的に進めるとともに、制度面を含めた課題の整理・検討を行っていく。



事業者の取組の推進(環境配慮設計の推進・透明性の向上等)、消費者の行動変容等の実現
ファッションロスの削減

各段階における今後の取組(案)

具体的には、3省庁が連携し、当面以下のような取組を実施していく。
来年度予算要求等を踏まえ、今後の取組を可視化していく。

生産・流通段階

【消費者庁】

- ファッション業界における消費者志向自主宣言の促進

【経済産業省】

- 環境配慮設計ガイドラインの策定
- デジタル化の促進

【環境省】

- 環境負荷把握・算出の推進等(経済産業省、消費者庁と連携)
- 生産・流通に係る優良事例を収集・発信(サステナブルファッションwebサイト)
- ジャパンサステナブルファッションアライアンスとの連携・協働(経済産業省、消費者庁と連携)

【3省庁連携】

- イベント等を通じた普及啓発・消費者の意識改革

【消費者庁】

- 消費者行動18のヒント(特設ページ等で発信)
- 「サステナブルファッション・サポーター」
- 地域における循環型ファッションの実証
- 認証マークの整理・情報提供

【経済産業省】

- 環境配慮設計ガイドラインの策定(再掲)
- デジタル化の促進(再掲)

【環境省】

- 衣服のリユース、リペア、アップサイクル等の促進方策の検討
- ポイント制度等を活用した消費者の行動変容を促す仕組みの検討
- ジャパンサステナブルファッションアライアンスとの連携・協働(経済産業省、消費者庁と連携)(再掲)

廃棄・循環段階

【環境省・経産省連携】

- 回収・リサイクルシステムの構築

【消費者庁】

- 消費者行動18のヒント(特設ページ等で発信)(再掲)

【経済産業省】

- 環境配慮設計ガイドラインの策定(再掲)
- デジタル化の促進(再掲)

【環境省】

- 化学繊維リサイクル技術の実証、設備補助
- 地域内循環の枠組み作りの検討
- 回収・リサイクルに関する優良事例の紹介(サステナブルファッションwebサイト)
- ジャパンサステナブルファッションアライアンスとの連携・協働(経済産業省、消費者庁と連携)(再掲)